

Excel PowerPivot

講義編②



プロフィール

- 名前:竹内 宏樹
- アスパークは2018年入社
- 所属オフィス: 名古屋
- 前職:SE、内定者研修講師(C言語)
- 学生時代の専攻:電気電子
- 取得資格:基本情報技術者試験(2017),
TOEIC L/R,S/W,
MOS Office 365&2019
(Word,Excel,Word Expert,Excel Expert,Powerpoint,Outlook,Access
Expert)(2021),
日商プログラミング検定 C, VBA STANDARD(2021),
VBAエキスパート Excel VBA Basic(2021),
Excel VBA Standard(2022),
Access VBA Basic(2022),
Access VBA Standard(2022),ビジネス統計スペシャリスト試験 ベーシック
(2022)
- 現在の業務:自動車部品の検査業務支援・検証支援
- 趣味:ウォーキング(これまで名古屋～熱海間の東海道在来線の駅の3/4の駅を参加),旅行



講義の流れ

- 「講義編」では知識を学び、「実践編」では実際に手を動かして実感できるようにしています。



GitHub

- 「実践編」で使用する資料は全てGitHubにコミットされています。ダウンロードしてお使いください。
- 「講義編」でも実演はしながら教えていきます。その際に使用された実演資料もGitHubに格納されております。
- 過去に自分が行った講義の資料も随時アップしていきます。



本講座の内容

- 1.「講義編①」の復習
- 2.イテレータ関数
- 3.DIVIDE関数
- 4.最後に

質問・チャットの時間は随時設けていきます。
難しいかもしれませんが、今回も60分、楽しんでいただければ幸いです!!



1.「講義編①」の復習



DAXとは?

- Data Analysis Expressionsの略
- マイクロソフトが開発したデータ分析用の言語
- パワーピボットだけではなく、Power BI,および Microsoft Analysis Serviceにも利用されている。



DAXとは?

- Excel関数とDAXはデータ分析をする上で必要不可欠。
- Excel関数
 - 基本的なデータ操作や計算
 - 各セルに関数を入力するので関数が多くなると管理が煩雑
- DAX
 - 高度な分析に特化している
 - 1つの式で全てのセルに適用可



COUNT関数

- COUNT関数
 - 特定の列のデータの数を返す。

・COUNT関数

COUNT(Row)

・引数の説明

＞ Row:カウントする対象の列を表す。



IF関数

■ IF関数

- 条件をチェックし、TRUEの場合は1つ目の値を、それ以外の場合は2つ目の値を返す。

・IF関数

IF(LogicalTest, ResultIfTrue, ResultIfFalse)

・引数の説明

- ＞ LogicalTest: TRUE又はFALSEに評価できる値・式を挿入
- ＞ ResultIfTrue: TRUEの場合に返される値
- ＞ ResultIfFalse: FALSEの場合に返される値(省略時には空白が返る)



質問・チャット①



2. イテレータ関数



イテレータ関数

- 特定のテーブルの全ての行に対して反復処理を行い、その結果を集計する関数のことをイテレータ関数という。
- イテレート(Iterate): 英語で「反復」の意味である。



イテレータ関数

- 公式:

イテレータ関数(Table, Formula)

- Table : テーブル名
- Formula : 評価式



イテレータ関数

イテレータ関数	内容
AVERAGEX	テーブルの各行に対して評価し、その結果の平均値を返す。
RANKX	テーブルの各行に対して評価し、その結果の値のランキングを返す。
COUNTX	テーブルの各行に対して評価し、その結果が空白ではない行の数を返す。
MINX	テーブルの各行に対して評価し、その結果の最小値を返す。
MAXX	テーブルの各行に対して評価し、その結果の最大値を返す。



イテレータ関数

- ここからは「資料.txt」を用いて、イテレータ関数の実演を行います。
- 資料は貨物列車で品物を運搬する際に貨車車票を表しております。



質問・チャット②



3.DIVIDE関数



3.DIVIDE関数

- 普通の割り算の計算式に加えて、0除算エラー時の値が指定できる。
→エラーが出たときに表示する値をユーザー自身でコントロールできるのがメリット。



3.DIVIDE関数

- 公式:

DIVIDE(numerator,denominator,alternateresult)

- numerator:分子(割られる数;被除数)
- denominator:分母(割る数;除数)
- alternateresult:エラーになったときに返される値
※ 省略時は空白を返す



3.DIVIDE関数

- ここからはDIVIDE関数のデモストレーションをお見せします。



4.最後に

- 気づいた方がいらっしゃるかもしれませんが、今回試しに自分の好きな鉄道の要素を少し入れてみましたがいかがでしたでしょうか？
- 今回分からなくても「実践編②」を随時予定しているので、そこで手を動かしてもらえればと思います。



ご清聴ありがとうございました



質問・チャット③
